

Q : 利用者の立場	A : 管理者の立場	Q2 : 沿道住民の立場
 <p>大きな段差・穴ぼこが有るところはゆっくり走らないと商品が壊れるよ～</p>	<p>道路部長 :</p>  <p>今までは道路資産の保全に特化した調査に基づき実施。皆さんは何を希望ですか？</p>	 <p>年度末は道路工事が多い・・・</p> <p>計画的な維持管理をされていますか？</p>
<p>カスタマーの要望 :</p>  <p>路面性能 : 安心・安全に走れる路面です。</p>	<p>担当者の要望 :</p>  <p>舗装構造の健全度も要論理的・廉価「持続可能」な手法です。</p>	<p>沿道住民・住民の要望 :</p>  <p>環境保全 : 安心・安眠 適切な税収の配布・情報公開</p>
 <p>宜しくお願いします。</p>	<p>県知事・市長 :</p>  <p>今後は 3 者の立場に立って皆さんからの税金を「有効に活用」させていただきます</p>	 <p>宜しくお願いします。</p>

Q：利用者の立場

A：管理者の立場

Q2：沿道住民・住民の立場

カスタマーの要望：



路面性能：  
安心・安全に  
走れる路面  
です。

道路部長：



纏めると：

1. 利用者：  
「路面性能」
  2. 沿道住民・納税者：「環境保全・計画性」
  3. 管理者：資産保全に重きを置き・「持続可能」な調査法：「安く早い」
- 以上です。

沿道住民・納税者の要望：



環境保全：  
安心・安眠  
適切な税収  
の配布・  
情報公開

計画的な維持管理して欲しい。

県知事・市長の方針：



国策のように生産性向上を重視した「革新的手法」を調査し実施しましょう。




宜しくお  
願いしま  
す。



宜しくお  
願いしま  
す。

役所の担当者 :



一宮市の「認証 29号」は実現の可能性が高い。

開発担当者は欄外のように説明しています。

Doctor-IRI とは :

国際標準の調査法で、殆どの国が採用している、路面の性能評価法です。しかし、開発者等は「性能評価」に留まらず、得られた調査結果から「舗装の構造的健全度」や「沿道住民への環境保全」を予測技術を使い可能にしています。1石3鳥の経済的な手法と自負している。概念を次に示す。

1.現地形状測定⇒2.形状復元⇒3.路面性能 (IRI : 国際ラフネス指数) : 利用者

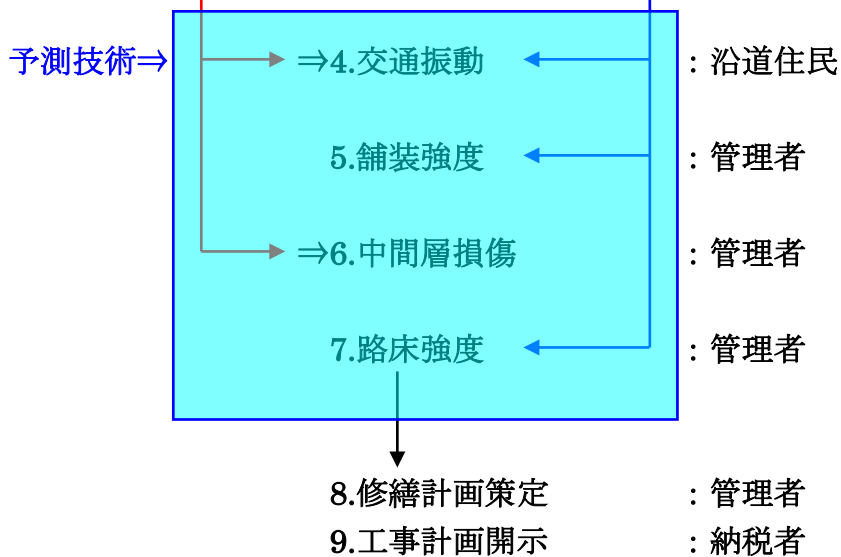


図-1 Doctor-IRI の調査概念図